

外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 2010年から2024年までにおける赤血球製剤・新鮮凍結血漿・血小板製剤の廃棄率および廃棄理由の推移に関する後方視的研究 」への協力のお願い

下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2010年1月1日～2024年12月31日の間に、輸血を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年3月31日

研究目的・利用方法：

本研究では、2010年1月1日から2024年12月31日までに当院で取り扱われたRBC、FFP、PCに関する情報を輸血システムおよび診療録から後方視的に収集します。各年における製剤別の廃棄件数および廃棄率を算出し、その年次推移を解析します。廃棄率は、各製剤の廃棄本数を払い出し本数で除して算出します。また、廃棄理由の内訳を製剤別・年別に集計し、院内運用変更と廃棄率や廃棄理由の変化との関連について探索的に検討します。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について、診療録および輸血管理システムから後方視的に取得します。いずれも日常診療および日常業務で記録された情報です。

なお、データ収集にあたっては、研究目的の達成に必要な最小限の範囲で患者情報を収集し、個人が特定できないよう加工します。

廃棄事例ごとのデータ

- 診療科（輸血依頼科）
- 血液製剤払い出し日
- 投与予定だった血液製剤量
- 投与予定だった血液製剤の種類（RBC、FFP、PC）
- 投与予定だった血液製剤の血液型（ABO血液型およびRhD血液型）
- 血液製剤の廃棄理由

院内全体データ（輸血管理システムより取得）

- 月別製剤在庫量（RBC、FFP、PC）
- 月別製剤払い出し量（RBC、FFP、PC）
- 月別製剤使用量（RBC、FFP、PC）
- 月別製剤廃棄量（RBC、FFP、PC）
- 年別手術件数

研究に用いる報の利用を開始する予定日：2026年6月5日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部
氏名：植村円香

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部
電話番号：058-230-7266
氏名：植村円香

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp